

NPO 法人 京都コミュニティ放送
第 155 回 番組審議会

開催日時：2023 年 4 月 27 日（木）10：30～11：30
会 場：ラジオカフェ事務所、Zoom 併用
委 員：中村正、岡田真彰、岡本卓也、福井秀彦、岡田芳宏
欠 席：隅井美沙子、ジェフ・バーグラント
事 務 局：藤本香

ゲスト：「ラジオでジェンダー」<https://radiocafe.jp/202301001/>
放送：毎月第 4 金曜日 23：00～23：30（30 分番組）
制作者：龍谷大学政策学部松浦ゼミナール

■番組審議：番組趣旨の説明

大学生の視点で、ジェンダーに対していろいろな切り口で話す。3 月 24 日は初めてのゲストウィングス京都の川畑容子さんをお招きした。

■2023 年 3 月 24 日放送回を聴いて審議に入った

- ・どんな学部でどんなゼミで...という“枠”が、OP・ED で毎回あると良い
- ・回を追って聴くことで、「大学生の視点」「(例えば)LGBTQ に対する番組の視点」が蓄積していくのでは。番組最後に、今回学んだことをまとめる時間をつくっては。
- ・井戸端会議をリスナーが垣間見るような番組。でも用語説明は欲しい。講師役と、学ぶ役に分かれていると思うので、司会が講師役をかねていると良い。また、普段の会話すぎて相槌のタイミングが早いため、ゆっくり間合いをつくると良い。
- 回毎、テーマを提案した者が講師役的になることが多い。意識したい。
- ・扱いの難しいテーマではあるが、かみくだいた内容で好印象。当事者からの反応があることを目指して作ってけるとよい。
- ・30 分は長い時間。30 分の音楽演奏をしたら、テンポを変えるなど、クライマックスライン・緩急をつくる。そういった意味でも司会役がいると、緩急がつくので良い。女性複数人の中で男性の声が立つので、男性が司会役に適している。後半声が遠くなってしまったので、マイクとの距離を意識できると良い。
- ・ナイキなど、身近なものが出たのはよかった。テーマがどうしてもとっつきにくさを持っているのでより。音声情報なので、具体例が出ることでイメージしやすく、想像力に訴えかけることができる。そこから「みんなはどう思う？」と投げかけることで、拡散していくと思う。
- ・ジェンダーという言葉や意識が、生まれた時からある世代(大学生)と、後から出てきた という世代とがいて、年齢や地域によって異なる受け止め方のある概念である。制服やランドセルなど、身近なところからその差異を探ることもできる。
- ・ラジオ「で」ジェンダー というタイトルが良い。ジェンダーを「ラジオで」やる意義を考えたい。

この審議会の議事録は 2023 年 4 月 28 日から事務所で閲覧できるようにした。

この審議会の 2023 年 4 月 28 日から WEB サイトで公開した。